

高等教育質保証学会 第14回大会
「社会からの信頼を高めるための高等教育の質保証」



大学間が連携して行う教育の質保証

山口県立大学
研究・地域連携担当副学長 吉村耕一

地域活性化人材育成事業SPARC

2022(令和4)～2027(令和9)年度

ひとや地域（まち・文化・教育）の well beingに貢献する文系DX人材の育成事業



3つの特色

1. 国公私 of 3 universities collaboration

「一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアム」設立

2. SPARC education program as a basis for regular education courses

山口大学	ひと・まち未来共創学環（定員40名）
山口県立大学	国際文化学部 3 学科（50名、45名、40名）
山口学芸大学	文系DX教員養成プログラム（10名）

3. High school to university education and re-education for "high school, university, society" collaboration



ひとや地域(まち・文化・教育)の

well beingに貢献する文系DX人材の育成

Society5.0に向けて人間中心の視点から地域活性化への大学協働

全国初の国公立大学による
大学等連携推進法人の設置

一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアム

令和5年3月設置

文化 まち **山口県立大学**

国際文化学部の再編
情報社会学科の新設

……令和7年4月設置……

〈養成する人材〉

地域社会の未来をリデザインし、
人々の暮らしのDX推進に貢献できる
人材

まち ひと **山口大学**

ひと・まち未来共創学環
の新設

……令和7年4月設置……

〈養成する人材〉

人間の心理・行動の理解と地域社会
に対する分析力を基礎として地域課
題の発見と解決ができる文系DX人材

教育 文化 **山口学芸大学**

文系DX教員養成
プログラムの新設

……令和6年4月開始……

〈養成する人材〉

将来のDX推進に貢献できる
STEAM人材を育てる教員

文理横断・地域課題PBL(アントレプレナー教育含む) …3大学共同開設…

連携
開設

SPARC教育プログラム DXによるPBL教育 STEAM教育

社会からの信頼を高めるための高等教育の質保証

教育の質保証

- ・ 目標を明確にし、目標達成にむけた教育課程や評価方法を整備する
- ・ 自己点検評価と内部質保証の仕組みを実質化する
- ・ 外部評価や認証評価を受け、その結果を公表する

社会との連携

- ・ 社会のニーズを把握し、教育内容に反映させる
- ・ 卒業生の進路や活躍を把握し、教育改善に活かす
- ・ 企業や地域社会と連携して、学生の実社会での学びと経験を深める

透明性と説明責任

- ・ 教育内容や評価結果を、学生や社会に対して分かりやすく公開する
- ・ 大学運営や財務状況を透明化する
- ・ 学生や社会からの意見を真摯に受け止めて改善に繋げる

社会からの信頼を高めるための高等教育の質保証

1. SPARC教育プログラムの評価

- ・ 自己点検評価報告書
- ・ アセスメントプラン

2. SPARC事業全体の評価

- ・ 自己点検評価報告書
- ・ 外部評価委員会 + 日本学術振興会による評価

3. 教育成果の公表

- ・ シンポジウム、ウェブサイト、発表会など

1. SPARC教育プログラムの評価

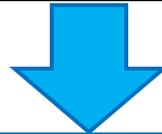
連携教育プログラム委員会

<毎月2回開催>

計画、進捗、課題を共有し、課題解決について協議

SPARC教育プログラム進捗状況確認一覧表

<毎年2回（中間・最終）>



自己点検評価報告書

<毎年1回公開>

I 連携教育プログラム

- ①連携開設科目
- ②SPARC-LMS
- ③高大接続推進
- ④リカレント教育推進
- ⑤教学IR
- ⑥DXによるPBL

II 各大学固有の教育課程の再編

- ①山口大学の学環
- ②山口県立大学の3学科
- ③山口学芸大学のプログラム

1. SPARC教育プログラムの評価

アセスメントプラン

授業レベル

- 各科目ごとの授業評価（学生、教員）
- PBLについては企業からの評価、合同発表会 →授業改善

プログラムレベル

- 3大学共同で検証、各大学のSPARC教育プログラムで検証
- プログラムの満足度（学生、企業） →運営の改善

学生のレベル

- ルーブリックで到達目標を説明
- 入学時、1年終了時、2年終了時、3年終了時の自己評価
- SPARC教育プログラムの成績の積み上げ →認定証発行

すべてのデータはコンソーシアムのクラウドに保管
教学IRチームが分析し、連携教育プログラム委員会で検証、改善へ

2. SPARC事業全体の評価

企画運営委員会

自己点検評価委員会

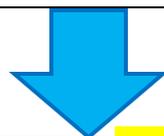
<年5～6回程度開催>

Ⅲ 大学等連携推進法人について

Ⅳ 地域連携プラットフォームについて

Ⅴ 広報活動・情報公開について

Ⅵ 全体評価について 5段階で評価



外部評価委員会

<年1回>

外部評価委員10名

(企業団体、労働関係団体、
銀行協会、大学関係者、
県教育庁など)

日本学術振興会の評価

2022(令和4)年度：開始

2023年度：フォローアップ評価

2025年度：中間評価

2027(令和9)年度：事業終了

2028年度：事後評価

(日本学術振興会サイト：

<https://www.jsps.go.jp/j-sparc/jisshijokyo.html>)

2. SPARC事業全体の評価

自己点検評価報告書に記載した評点（案）

※令和7年9月22日に外部評価実施予定

評価項目	自己点検・評価判定結果(評価点)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
I 連携教育プログラムに関すること	—	—	—	—	—	—
I-1 連携開設科目に関すること	3	5	5			
I-2 SPARC-LMSに関すること	3	3	3			
I-3 高大接続推進に関すること	3	4	4			
I-4 リカレント教育推進に関すること			4			
I-5 教学IRに関すること	3	3	4			
I-6 DXによるPBLに関すること	3	4	4			
II 各大学固有の教育課程の再編	—	—	—	—	—	—
II-1 山口大学	3	3	3			
II-2 山口県立大学	3	3	3			
II-3 山口学芸大学	3	3	3			
III 大学等連携推進法人に関すること	3	3	3			
IV 地域連携プラットフォームに関すること	3	3	3			
V 広報活動・情報公開に関すること	3	3	3			
合計	33	37	42	0	0	0

3. 教育成果の公表

2023年5月 キックオフシンポジウム

山口大学 山口県立大学 山口学芸大学
一般化認定 大学等共創大学コンソーシアム

令和4年度地域活性化人材育成事業～SPARC～

ひとや地域(まち・文化・教育)の well being に貢献する
文系DX人材の育成
キックオフシンポジウム

山口大学・山口県立大学・山口学芸大学の3大学は、各都府県「地域活性化人材育成事業～SPARC～」に採択され、「人財中心のまちづくり」の実現に向け、ひとや地域の課題解決のために貢献する人材(文系DX人材)の育成を推進している。
このほか、本事業の経費が各大学の他機関からも補助を受け、SPARCと連携しながら実施している。併せて、各都府県や企業等と連携し、実践的な人材育成に取り組んでいる。
本シンポジウムでは、各大学の取り組みや、SPARCの取組について、各大学の代表者が発表し、質疑応答や意見交換を行う。また、各大学の取り組みについて、各大学の代表者が発表し、質疑応答や意見交換を行う。

日時 令和5年5月16日(火) 14:00開始
17:15終了予定
会場 KDDI維新ホール2階
〒734-0041 山口県小郡市第一丁目1番1号

現地1,200名及びオンライン開催(ハイブリッド方式で行います)
【対象】各大学の大学・高等学校など教育関係者の皆様、地域連携に取り組む自治体、人材育成、DXに関心のある企業・団体の皆様
お申し込み https://www.yamaguchi-sparc.jp/form_20230516

プログラム

- 14:00 開会挨拶・来賓挨拶
- 14:20 事業説明、概要報告、取組紹介
- 15:00 基調講演
社会が求める文系DX人材とともにバーパス都市経営で実現するWell-Beingの高いまち
講師 西岡 清代 株式会社経営学総合研究所 専任講師
- 16:15 パネルディスカッション
未来を拓く! ChatGPTと文系DX人材が地域活性化に革新をもたらす
講師 古原 俊和 株式会社エディテック 代表取締役
17:15 閉会挨拶

西岡 清代
古原 俊和

【主催】山口大学・山口県立大学・山口学芸大学
【共催】一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアム(大学等連携推進法人) 【後援】山口県・山口市
学務総企画部地域連携課 ☎083-933-5444 ✉ch085@yamaguchi-u.ac.jp

3大学の卒業生が登壇：
プログラムへの期待について

2024年7月 シンポジウム

山口大学 山口県立大学 山口学芸大学 一般化認定 大学等共創大学コンソーシアム

地域活性化人材育成事業～SPARC～
ひとや地域(まち・文化・教育)の well being に貢献する
文系DX人材の育成シンポジウム

令和6年7月27日(土)
会場 KDDI維新ホール 大ホール
(山口県小郡市第一丁目1番1号)
JR新山口市駅下車、北口から直結

対象 高校生・保護者の皆様、全国の大学・高等学校などの教育関係者の皆様、地域連携に取り組む自治体、人材育成、DXに関心のある企業・団体の皆様

進もう。未来は、
私たちの心の中だ。
ひとや地域の課題解決のために

現地1,200名及びオンライン開催(ハイブリッド方式で行います)
【対象】各大学の大学・高等学校など教育関係者の皆様、地域連携に取り組む自治体、人材育成、DXに関心のある企業・団体の皆様
お申し込み https://www.yamaguchi-sparc.jp/form_20240727/

プログラム(予定)

- 14:00 オープニングアクト
- 14:10 開会挨拶・来賓挨拶
- 14:30 基調講演
ウェルビーイング研究者夫妻によるわかりやすい幸福学入門
演目「ウェルビーイング入門」
講師 前野 マドカ氏
演目「ウェルビーイングと教育」
講師 前野 雅司氏
- 15:40 3大学の取組紹介
ひとや地域の well being に貢献する文系DX人材の育成に向けた各大学の取組紹介
- 16:30 パネルディスカッション
「探究学習からPBLへ」
DXによる地域課題解決(PBL)を試行科目として受講した各大学のみなさまによる意見交換

お問い合わせ先
山口大学総務企画部地域連携課
電話:083-933-5444
メール:sh085@yamaguchi-u.ac.jp

3大学のPBL履修学生が登壇：
学んだことについて

3. 教育成果の公表

2025年3月 SPARC全国シンポジウム

令和6年度
地域活性化人材育成事業～SPARC～
全国シンポジウム

「連携と共有」で創る、
大学教育の未来

2025年3月6日(木)▶7日(金)
会場:KDDI維新ホール
〒754-0041 山口県山口市小部令和一丁目1番1号
(JR新山口市駅北口直結)

参加 無料 要事前 予約

参加対象 大学連携による地域の活性化に興味のある
教職員、自治体、企業、金融機関職員等

ハイブリッド 開催
現地 オンライン

プログラム 詳細はチラシ面を参照

■第1日目(3月6日)	■第2日目(3月7日)
14:30 開会/挨拶	09:00 開会/クロストークの趣旨説明
14:50 基調講演 連携と共有が拓く地域の未来 学校法人東京家政学院理事長・ 筑波大学名誉教授 吉武 博通 氏	09:05 クロストーク テーマ1:連携関係科目 ファシリテーター 山口県立大学副学長 岩野 雅子
16:00 探訪地域事業説明 山口県 山梨県 長野県 岐阜県 熊本県 富山県	10:15 テーマ2:地域拠点を活かしたPBL ファシリテーター 長野大学特任教授 宮本 秀樹
16:30 情報交換会 (場所:KDDI維新ホール2Fホワイエ)	11:25 テーマ3:リカレント ファシリテーター 山口県立大学副学長 成富 敬
	12:25 閉会挨拶

参加申込はこちら
QRコード
定員 現地200名
オンライン500名
申込締切 2月25日火

主催 山口大学・山口県立大学・山口学芸大学
共催 山梨大学・信州大学・岐阜大学・熊本大学・富山大学
お問い合わせ 山口大学 総務企画部 地域連携課
TEL: 083-933-5630

2025年7月 シンポジウム

山口大学 山口県立大学 山口学芸大学

地域活性化人材育成事業～SPARC～
ひとや地域(まち・文化・教育)のwell beingに貢献する
文系DX人材の育成シンポジウム

地域発DX
～人材とDXで山口から新たな価値の創出を～

令和7年 7月15日(火)

会場 KDDI維新ホール 大ホール
(〒754-0041 山口県山口市小部令和一丁目1番1号)
JR新山口市駅下車、北口から直結

対象 DX人材育成、DXの取り組みに関心のある
企業・自治体・教育機関等の方
社会人を対象としたDXのリカレント教育
(学び直し)に関心のある方
大学関係者、大学生

プログラム(予定)

13:00 開会挨拶

【第1部】
13:20～13:40 SPARC事業(文系DX人材育成と
地域活性化の取り組み)の紹介
パネルディスカッション
13:40～14:30 大学によるDXのリカレント教育
14:40～15:30 課題解決型学習(PBL)を
通じた大学と地域との連携

【第2部】
15:40～16:40 クロストーク
テーマ1 DXのリカレント教育
テーマ2 DXを盛り込んだ
課題解決型学習(PBL)

16:40 閉会挨拶

16:50～17:50 情報交換会

お問い合わせ先
山口大学総務企画部地域連携課
電話: 083-933-5630 メール: sh085@yanaguchi-u.ac.jp
<https://forms.gle/518t2arsYtaCfo536>

お申込み
QRコード
オンライン 同時配信

山口県、山梨県、長野県、岐阜県、
熊本県、宮崎県の成果と課題を共有

3大学の新1年生約200人が参加し、
質疑応答にも加わる

3. 教育成果の公表

ウェブサイトでの発信

やまぐち共創大学コンソーシアム

<https://www.yamaguchi-kyoso.or.jp/>



一般社団法人
やまぐち共創大学コンソーシアム
General Incorporated Association
Consortium of Higher Education Institutions for Co-Creating Yamaguchi

山口大学・山口県立大学・山口学芸大学 地域活性化人材育成事業SPARC

<https://www.yamaguchi-sparc.jp/>



やまぐち共創大学コンソーシアムとは

山口大学・山口県立大学・山口学芸大学は、それぞれの大学の特色を活かし、人的・物的リソースを相互に補完することにより、教育研究機能の強化のための事業を連携して実施し、地域との共創によって、地域が求める人材育成や地域社会の振興と発展に寄与することを目的として、令和4年12月6日に「一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアム」を設立しました。

お知らせ

2025/08/08 山口県立大学地域交流イベント「県大見本市」	2025/08/04 令和7年7月15日(火)、SPARC「地域発DX」	2025/07/03 山口県立大学地域交流イベント「県大見本市」

ニュース 事業概要 取り組み お問い合わせ

育むプロジェクトです。
協力して文系DX人材を
山口学芸大学の3大学が
山口県立大学
山口大学

山口大学・山口県立大学・山口学芸大学による
文系DX人材の育成について

3. 教育成果の公表

PBL合同発表会

発表・表彰で3大学のPBL履修学生の成果を確認



企業や地域社会と3大学のPBL履修学生の交流で成果を確認



3. 教育成果の公表

各大学独自の広報（例）

- ・ ニュースレター



- ・ 論集・報告書



- ・ リーフレット
- ・ 広報動画
- ・ SNSなど



今後は、

- ・ 学生に学修成果をフィードバックしていくこと
- ・ ルーブリックによる自己評価・成績積算・満足度などのまとめと公開

まとめ： 社会からの信頼を高めるための高等教育の質保証

教育の質保証

- ・ 目標達成にむけた教育課程や評価方法を整備する
- ・ 自己点検評価と内部質保証の仕組みを実質化する
- ・ 外部評価や認証評価を受け、その結果を公表する

社会との連携

- ・ 社会のニーズを把握し、教育内容に反映させる
- ・ 卒業生の進路や活躍を把握し、教育改善に活かす
- ・ 企業や地域社会と連携して、学生の実社会での学びと経験を深める

透明性と説明責任

- ・ 教育内容や評価結果を、学生や社会に対して公開する
- ・ 大学運営や財務状況を透明化する
- ・ 学生や社会からの意見を真摯に受け止めて改善に繋げる

まとめ：

社会からの信頼を高めるための高等教育の質保証

教育の質保証

- ・ 目標達成にむけた教育課程や評価方法を整備する → アセスメントプラン
- ・ 自己点検評価と内部質保証の仕組みを実質化する
→ 連携教育プログラム委員会、企画運営委員会、自己点検評価委員会
- ・ 外部評価や認証評価を受け、その結果を公表する
→ 外部評価委員会、日本学術振興会による評価

社会との連携

- ・ 社会のニーズを把握し、教育内容に反映させる
- ・ 卒業生の進路や活躍を把握し、教育改善に活かす
- ・ 企業や地域社会と連携して、学生の実社会での学びと経験を深める

透明性と説明責任

- ・ 教育内容や評価結果を、学生や社会に対して公開する
- ・ 大学運営や財務状況を透明化する
- ・ 学生や社会からの意見を真摯に受け止めて改善に繋げる

まとめ：

社会からの信頼を高めるための高等教育の質保証

教育の質保証

- ・ 目標達成にむけた教育課程や評価方法を整備する → アセスメントプラン
- ・ 自己点検評価と内部質保証の仕組みを実質化する
→ 連携教育プログラム委員会、企画運営委員会、自己点検評価委員会
- ・ 外部評価や認証評価を受け、その結果を公表する
→ 外部評価委員会、日本学術振興会による評価

社会との連携

- ・ 社会のニーズを把握し、教育内容に反映させる
→ 大学リーグやまぐちで行ったアンケート・インタビュー
- ・ 卒業生の進路や活躍を把握し、教育改善に活かす → シンポジウム
- ・ 企業や地域社会と連携して、学生の実社会での学びと経験を深める
→ 外部評価委員会、PBL合同発表会

透明性と説明責任

- ・ 教育内容や評価結果を、学生や社会に対して公開する
- ・ 大学運営や財務状況を透明化する
- ・ 学生や社会からの意見を真摯に受け止めて改善に繋げる

まとめ：

社会からの信頼を高めるための高等教育の質保証

教育の質保証

- ・ 目標達成にむけた教育課程や評価方法を整備する → アセスメントプラン
- ・ 自己点検評価と内部質保証の仕組みを実質化する
→ 連携教育プログラム委員会、企画運営委員会、自己点検評価委員会
- ・ 外部評価や認証評価を受け、その結果を公表する
→ 外部評価委員会、日本学術振興会による評価

社会との連携

- ・ 社会のニーズを把握し、教育内容に反映させる
→ 大学リーグやまぐちで行ったアンケート・インタビュー
- ・ 卒業生の進路や活躍を把握し、教育改善に活かす → シンポジウム
- ・ 企業や地域社会と連携して、学生の実社会での学びと経験を深める
→ 外部評価委員会、PBL合同発表会

透明性と説明責任

- ・ 教育内容や評価結果を、学生や社会に対して公開する → ウェブサイト、広報
- ・ 大学運営や財務状況を透明化する → 各大学の外部評価
- ・ 学生や社会からの意見を真摯に受け止めて改善に繋げる
→ 自己点検評価報告書、日本学術振興会への実施報告書